

令和6年度全国学力・学習状況調査の結果と個人票の配付について

初秋の候、皆様方におかれましては、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。保護者の皆様には、本校の学力向上の取組に対して、日頃より御理解と御協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、全国学力・学習状況調査の個人票を、お子さんを通じて保護者の皆様にお渡しします。この個人票は、4月18日に実施した国語科・算数科の結果を示しています。お子さんの得意な観点、苦手な観点を確認していただき、御家庭での学習に役立てていただきたいと思います。6年生全体としては、以下のような結果が得られました。

1 結果

全ての教科で、愛媛県平均と全国平均を上回っていました。観点別では、国語は全ての観点で、全国平均を上回っていますが、算数については、知識・技能の観点で全国平均を下回りました。

【国語科について】

- 話し言葉と書き言葉の違いに気付き、答えることができています。
- 目的や意図に応じ、話す内容を分類したり、関係付けたりして、伝えたいことを明確にする力が身についています。
- 文の中における主語と述語との関係を捉えることができています。
- 物語の人物像や物語の全体像を具体的に想像して、自分の考えを答えることができています。
- △ 学年別漢字配当表(下学年)に示されている漢字を文の中で正しく使う問題が十分できているところとそうでないところがあります。
- △ 資料を活用して、自分の考えを伝えるような表現の工夫についての理解が十分でないところがあります。

【算数科について】

- 数量の関係を捉え、立式することができています。
- 図形の直方体の見取り図や円柱の展開図について理解できています。
- 計算の仕方や、計算に関して成り立つ性質を理解できています。
- △ 球の直径の長さや立方体の一辺の長さの関係を捉え、立方体の体積を求める問題ができていません。
- △ 速さについて理解が十分にできていません。
- △ 折れ線グラフや簡単な二次元の表を読み取ることが十分にできていません。

【生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査の結果】

- 生活習慣に関する質問は、全国平均と比べ高い傾向です。
- 家庭学習で一時間以上勉強している割合が、全国平均よりも高いです。
- スマートフォンなどの使い方では、家の人との約束を守っている割合が全国平均よりも高いです。
- 規範意識に関する質問では、肯定的な意見が多いです。
- 「人の役に立ちたい」「地域や社会をよくするためになにかしたい」と思っている児童が多いです。
- 学校でのタブレットなどのICT機器の活用について、全国よりも平均が高いです。
- 学習に対する興味関心では、国語・算数ともに全国に比べて高いです。
- 外国語の興味・関心は、全国平均より高いですが、内容理解については全国平均より下回っています。
- 今回の学力・学習状況調査の解答時間について、「やや足りなかった」と答えた児童が多かったです。

2 今後の対策

以上の結果を踏まえ、本校では次の点に気を付けて指導に取り組みます。御家庭におかれましても御協力をお願いします。

【国語科について】

- 漢字を文章の中で正しく使うために、漢字辞典を使って意味を調べたり、同音異義語を使い分けた短文作りをしたりする学習などを適宜取り入れます。
- 説明文や報告文などを学習する単元では、作者の表現の工夫について考え、その表現を活用するような活動を取り入れます。

【算数科について】

- 知識・技能の定着を図るために、小テストや復習問題に取り組みます。
- 図表や計算の意味を考え、言葉で説明する機会を多く持つようしていきます。
- 多くの問題に触れるように、EILSやタブドリを活用していきます。